

管路の耐震化

「じゃ口をひねって水を出し、使った水を下水道に流す」というみなさんの普段の生活を支えるため、まちの中には水道管・下水道管がきめ細かく整備されています。地震によって水道管が被害を受けると断水が発生する可能性があるなど、管路の耐震化は大きな課題となっています。ここでは水道管・下水道管の耐震化について見ていきます。



耐震管はクレーンで持ち上げるとなります

【水道】丈夫で、柔軟な耐震管！

耐震管は材質がかたく、管と管をつなぐ継手部分に伸縮性と抜け出し防止の機能があり柔軟性に優れています。そのため、地盤の揺れに対応し、破損や継手の抜け出しを防ぎ被害を抑えることができます。耐震管の整備については、基幹管路と重要施設（基幹病院や透析実施医療機関、避難所など）に至る管を優先して進めています。



【下水】老朽管のリニューアル(管更生)

市内には1,000kmを超える下水道管が布設されており、大きな地震が起きると老朽化した管がずれたり破損したりする可能性があり、ご家庭のトイレや洗濯などの水が下水道処理場までうまく流れなくなるおそれがあります。

そこで、尼崎市では老朽化した下水道管の内側に塩化ビニル製などの材料を取り付けるリニューアル(更生)工事を進めています。これにより、今の下水道管の寿命を延ばすだけでなく地震に耐えることが可能となります。



水道と下水道で耐震化の方法が違ふんだ。



進めています！ 水道・下水道の災害対策

大きな災害が起こったときに、みなさんの生活の不便をできるだけ小さくするため、尼崎市では水道・下水道のそれぞれで災害に備えた施設の整備などの対策を進めています。そこで今回は、水道・下水道で行われている施設の整備についてご紹介します。



まちの中での備え

地震や水害に備えて、まちの中でも施設の整備を進めています。これらの施設は地下につくられるため見ることができません。今回はみなさんの住んでいるまちの中で進められている災害への備えについて紹介いたします。



【水道】地中に埋まっている耐震性緊急貯水槽

水道管の耐震化を計画的に進めています。これには時間がかかるため、比較的地盤の高い北部地域や、浄水場から遠い西部地域を中心に耐震性緊急貯水槽を設置しています。貯水槽内は、平常時は新鮮な水道が流れていますが、地震などにより水道管内の水圧が大きく変化すると遮断弁が自動的に作動し、貯水槽内の水が飲料水として確保されます。貯水槽1基で約10,000人に3日分以上の飲料水(1人1日3ℓ)を提供することが可能で、現在市内に6基(防災センター、北部防災センター、潮江緑遊公園、尼崎北小学校、常陽中学校、大島小学校)設置されています。平成29年度は武庫南小学校に1基設置を予定しており、まちの中においても災害時に水道水が確保できるよう努めています。



【下水】雨水貯留管の整備

まちの中の備えとして近年では、ゲリラ豪雨と呼ばれる局地的な大雨が降ることが多く尼崎市でも大雨への対策を考えており、その一つとして、雨水貯留管の整備を進めています。雨水貯留管とは、下水道管とは別に貯留するための管を布設し、大雨が降った時に下水道管の能力を超えた雨水が雨水貯留管に流れ落ち、一時的に地下に貯める施設となります。そして、貯留管に貯まった雨水は晴れた日にポンプを使って下水道管に汲み上げ、下水道処理場まで送ります。

施設の耐震化

浄水場や下水処理場は、管路と同様に上下水道をいつでも安定して使うために重要な役割を果たしており、これらの施設の耐震化も進めて災害に備えています。下水道では、これらの老朽化した施設や設備をリニューアルする際にあわせて耐震化を行い、効率的かつ経済的に取り組んでいます。



【水道】配水池の耐震化を進めています

浄水処理した水道水を一時的に貯めておく配水池は、災害時には応急給水拠点としても活用されます。神崎浄水場の地下には配水池が9つあり、災害に強い施設にするために順次耐震化を進めています。



【下水】反応タンクの耐震化工事をしています

下水処理場では、微生物の力を利用して下水をきれいな水に処理をしています。そして微生物が下水の汚れを取り除くための設備を、「反応タンク」といいます。もし、地震などの災害によって反応タンクが壊れてしまうと、下水をきれいにすることができなくなってしまいます。そこで、東部浄化センターの反応タンクに鉄筋を埋め込み、施設の強度を増す工事をを行い、地震等による損壊を防ぐ対策を実施しています。



大雨や災害に備えて努力してくれてるんだ！



職員の災害に対する取組み

施設の整備は災害の前に行える備えですが、実際に災害が起こったときに対応するのは職員(人)となります。職員の災害時の対応力の向上を図るために、水道・下水道で計画の策定・見直しや訓練を行っています。



漏水した管を復旧する訓練

【水道】災害に備えて訓練を実施しています

災害が起こった際に迅速に対応できるよう、応急復旧訓練や応急給水訓練などを行っています。また、大災害が起こった場合に備えて県や他の事業者との合同訓練や、地域住民の方と耐震性緊急貯水槽などを利用した訓練を行っています。

【下水】下水道事業業務継続計画(BCP)による早期な対応

地震や津波等の災害が発生しても下水道機能の継続および早期復旧ができるように下水道部では下水道事業業務継続計画(BCP)を作成しています。

同計画に基づき、地震や津波の発生を想定した緊急点検ルートの図上訓練や施設復旧のための点検、汚水溢水を想定した仮設ポンプの運搬設置などの訓練等を毎年実施しています。また民間業者との災害協定を結び、災害が発生しても早期に対応できるように備えています。



みんなのサマーセミナーや市政出前講座で 水道についての授業・講座を開きました

平成29年8月5日(土)6日(日)に尼崎双星高校で開催された「みんなのサマーセミナー」で尼崎の水道に関する授業や浄水処理に関する実験教室を行いました。また8月19日(土)には市政出前講座として「水道水の安全を守る」をテーマに講演を行いました。このように水道についてみなさんに直接伝える機会を通じて、より水道事業を身近に感じてもらう取組みをしています。



下水道部からのお願い 浸水対策にもなる 雨水貯留タンクの設置をお願いします

雨水貯留タンクには、大量に降った雨水が、一気に下水道に流れ込むのを緩和し、浸水被害を軽減する効果があります。また雨水貯留タンクの購入や設置にかかる費用の一部の助成も行っています。

助成額… 市内業者から購入した場合は購入費用の2分の1、市外業者から購入した場合は3分の1。いずれも限度額は3万円。
対象… 市内在住もしくは市内事業者。タンクの容量が80ℓ以上など、ほかにも要件あり。

申込み方法… 平成29年4月1日～平成30年1月31日までに、所定の申請書などを持って、水道局庁舎5階下水道部計画担当へ。申請書などは同担当で配布しています。市のホームページから印刷もできます。必ず購入前に申請してください。予算額に達し次第終了します。

尼崎 雨水

お問い合わせ

水道はこちらへ
水道局電話受付センター
☎06-6375-0002
毎日*午前8時45分～午後5時30分まで受け付けています。
*12月29日～1月3日を除く。
上記の時間外・年末年始の緊急時は水道局警備室へ
TEL.06-6489-7400 FAX.06-6375-0124

下水道はこちらへ
平日の午前8時45分～午後5時30分まで受け付けています。

●下水道使用料について
【下水道部経営企画課】
☎06-6489-6555
●道路のマンホールから汚水があふれている
【下水道部建設課】
☎06-6489-6562

